

(和訳)※原文(英語)については6ページ目以降をご参照ください

VPR19-053
2019年7月17日(水)

NO. 233/2019

フォードとフォルクスワーゲン、 世界規模の協力を自動運転および電動化へ拡大

- フォルクスワーゲンは、自動運転車のソフトウェアプラットフォームを開発しており、70億ドル 以上となる企業価値評価を持つArgo AIにフォードと共同で出資。この提携により、両社は、Argo AIの「Self-Driving-System」(SDS = 自動運転システム)をそれぞれの車両に合わせながら搭載ができると共に、これまでにない世界的な規模によるスケールメリットの恩恵を受けられる。
- フォードは、フォルクスワーゲンによる電気自動車専用のMEB (エレクトリック ツールキット)を使用して、少なくとも1モデルの量産電気自動車の設計・製造を行い、2023年からヨーロッパで 発売。フォルクスワーゲンのスケールメリットを活用しながら、車両ラインナップを効率的に拡充。
- フォードとフォルクスワーゲンが各ブランド用の商用バンと中型ピックアップを開発し、特定の 世界市場で2022年から販売する計画は予定通り進行中。これにより、開発コストを分担して、 大きな相乗効果を発揮。
- フォルクスワーゲンとフォードの世界規模での提携は、両社間で株式の持ち合いを伴わない もので、両社にとっては、年間を通じて経営の効率性の向上が期待される。

2019年7月12日、ニューヨーク:

フォード モーター カンパニーとフォルクスワーゲンAGは、電気自動車を含む世界規模の提携をさらに拡大することを発表しました。この提携では、Argo AI(アルゴAI)と協力して米国およびヨーロッパに自動運転技術を導入し、両社の競争力や、コストおよび投資の効率性を向上させながら、お客様により良いサービスを提供することを目指しています。

フォルクスワーゲン最高経営責任者(CEO)のDr. ヘルベルト ディース、フォード社長兼CEOのジム ハケット、そしてArgo AI CEOのブライアン サレスキーは、自動運転車のプラットフォームを開発しているArgo AIに、フォルクスワーゲンがフォードと共同で出資することを発表しました。

VOLKSWAGEN

AKTIENGESELLSCHAFT

COLLABORATION WITH ARGO AI AIMS FOR INDUSTRY LEADING SDS¹ PLATFORM



フォードとフォルクスワーゲンが提携を拡大することで、Argo AIの自動運転システム（SDS）は、ヨーロッパと米国で商業展開される最初の自動運転システムとなります。両社の世界的なネットワークを活用することにより、このプラットフォームは、これまでに開発された自動運転技術の中でも、最大規模で世界の各市場に展開できる可能性を秘めています。フォルクスワーゲンとフォードは、両社による人やモノの移動に対する差別化された取り組みを推進するため、Argo AIのSDSを、それぞれのブランドの車両に独立して搭載することを予定しています。

Argo AIのSDSは、大都市におけるライドシェアリングや配達サービスに利用することができる、SAEレベル4の自動運転システムを開発することに焦点を当てています。

フォードとフォルクスワーゲンは、Argo AI株を均等に所有します。両社の株式を合計すると、Argo AI株の過半数を所有することになります。残りの株式は、Argo AI従業員のインセンティブ用にプールされます。全ての取引は、関連する行政当局の承認を得た上で、契約条項に従って実施されます。

「フォードとフォルクスワーゲンは独立した企業としての立場を維持し、市場では競争しながらも、Argo AIとチームを組んで協力することで、かつてない可能性、スケールメリット、市場規模を達成することが可能になるでしょう」と、フォード社長兼CEOのジム ハケットは述べています。「様々な分野で相乗効果を発揮することで、インテリジェントな時代にインテリジェントなクルマを開発する、グローバルな提携力を示すことが可能になるでしょう。」

両者のトップはまた、フォードは、フォルクスワーゲンが開発した電気自動車専用のMEB（モジュラーエレクトリックツールキット）を使用し、2023年にヨーロッパで量産電気自動車の販売を開始することも併せて発表しました。

VOLKSWAGEN

AKTIENGESELLSCHAFT

フォードは、ヨーロッパのお客様向けの、まったく新しい第二のモデルを開発することを検討しており、6年間でMEBを使用した60万台以上の電気自動車を販売することを目指しています。この電気自動車は、商用車や、魅力的なクロスオーバーモデル、「Mustang（マスタング）」や「Explorer（エクスプローラー）」といったブランドを代表する輸入モデルとともに、ヨーロッパにおいて引き続き力強い存在感を示すという、フォードのヨーロッパ戦略をサポートするものとなります。

フォルクスワーゲンは、2016年にMEBの開発を開始し、このプラットフォームに約70億ドルを投資しました。同社は、このプラットフォームを使用して、今後10年間でフォルクスワーゲングループのみで、約1,500万台の車両を生産することを計画しています。

フォードにとって、フォルクスワーゲンのMEBを使用することは、全世界で115億ドル以上に達する電気自動車への投資計画の一環であり、持続可能性に関するコミットメントを満たしながら、ヨーロッパのお客様に幅広い電気自動車を提供するというフォードの取り組みをサポートするものです。

「業界をリードするフォルクスワーゲンのEVアーキテクチャーは、将来的に、より多くのお客様と環境に恩恵をもたらすことになるでしょう。私たちの世界規模の提携は、さらに大きな展望を示し始めており、他にも協力できる分野がないか、引き続き検討しています」と、ディースは述べています。「MEBの規模を拡大することで、電気自動車の開発コストが削減され、電気自動車をより幅広く、そしてより素早く世界市場へ導入することが可能になります。これにより、より良い資本効率、さらなる成長、そして競争力の強化を実現し、世界における両社のポジショニングが向上します。」

フォルクスワーゲンとフォードの提携は、Argo AIに対する共同出資へと発展しましたが、この提携は両社間で株式を持ち合うものではなく、Argo AIへの出資とは独立したものです。今回の提携は、ハケットとディースが議長を務め、両社の役員が名を連ねる共同委員会によって管理されることとなります。

さらに両社は、2022年から世界のお客様に提供する中型ピックアップトラック、そしてそれに続いて予定されている商用バンの開発も順調に進めています。

Argo AI株を均等に保有

フォルクスワーゲンは、Argo AIに合計26億ドルを出資します。その内の10億ドルは、Argo AIに対する資金提供で、残りは、16億ドルと評価されているフォルクスワーゲングループ子会社 Autonomous Intelligent Driving (AID) をArgo AIに統合させることにより提供します。200人以上の従業員を抱えるAIDは、従業員の大半がフォルクスワーゲングループ向けの自動運転テクノロジーを開発してきました。

VOLKSWAGEN

AKTIENGESELLSCHAFT

また、今回の提携の一部として、フォルクスワーゲンは、今後3年間でフォードから5億ドル分のArgo AI株を購入する予定です。フォードは、以前に発表したArgo AIに対する10億ドルの現金投資のうち、残りの6億ドルの投資も今後実施する予定です。

両社の投資によって、Argo AIの評価額は70億ドル以上となります。両社は、自動運転技術関連の新しい事業に参入することによって、収益力のある成長を成し遂げることを含め、今回の提携に大きな可能性を見出しています。

フォードとフォルクスワーゲンは、Argo AIと密接に協力することにより、ライドシェアリングや宅配サービスの分野において、安全で、信頼性が高く、耐久性のあるモデルとして量産可能な自動運転技術を利用できるようになります。

「Argo AIは、弊社の明確な使命と、パートナー企業のコミットメントにより、世界有数の人材を集めることに成功しました。AIDの従業員と共に働くことにより、私たちのチームはさらに国際色豊かなものになり、さらに多くの才能溢れる人材を確保できると確信しています」と、Argo AIの共同創設者のサレスキーは述べています。「フォードとフォルクスワーゲンの取り組みにより、Argo AIのテクノロジーは、将来的に北米およびヨーロッパのほとんどすべての市場に導入され、複数のブランドと数多くの車両アーキテクチャーに搭載されることになるでしょう。」

ドイツのミュンヘンに拠点を置くAIDは、Argo AIの新しいヨーロッパ本社となり、AIDの現在のCEOであるカールハインツ ヴルムが責任者に就任する予定です。500人の従業員を擁するArgo AIは、AIDの従業員を追加することで、全世界で700人の従業員を抱える企業へと成長を遂げることとなります。

Argo AIは、米国ペンシルベニア州ピッツバーグの本社に加え、ミュンヘンに開設されるヨーロッパ初のエンジニアリングセンターは、ミシガン州ディアボーン、ニュージャージー州克蘭ベリー、そしてカリフォルニア州パロアルトに次ぐ5か所目の拠点となります。さらに、フォードと協力して、マイアミとワシントンDCで自動運転技術をテストしています。ここでは、商用のモビリティサービスを展開することを計画しています。

フォードは、フォルクスワーゲンのMEBを60万台の車両に採用

フォードは、MEBプラットフォームをベースにする、まったく新しい電気自動車の開発を計画しています。ドイツのケルン-メルケニヒで開発されるこの新型車は、2023年から発売される予定です。フォルクスワーゲンは、今回の提携の一環として、MEB部品とコンポーネントを供給します。

VOLKSWAGEN

AKTIENGESELLSCHAFT

両社はまた、電気自動車の開発において、協力可能な他の分野がないか検討を続けています。フォードとフォルクスワーゲンは、持続可能で手頃な価格のe-Mobilityへの移行を推進しているため、新たな提携分野の模索は、両社にとって重要な戦略的優先事項となっています。

フォードとの合意は、フォルクスワーゲンの電動化戦略の土台となるもので、e-Mobilityの成長をサポートすることで、パリ協定における2050年の目標値を達成するための世界的な取り組みを促進するものです。

商用バンとピックアップの共同開発は順調に進行中

フォードとフォルクスワーゲンは、世界の主要な市場におけるそれぞれの強みを活かすため、以前に発表した商用バンと中型ピックアップの共同開発計画を順調に進めています。車両を共同開発することで、両社にとって、効率性が大幅に改善されます。

先日発表の通り、フォードは、ヨーロッパ、アフリカ、中東、アジア太平洋、南アメリカのお客様向けに、中型ピックアップトラックの開発・製造を行います。フォードとフォルクスワーゲン用に開発されるこのピックアップトラックは、2022年より主要な市場に導入される予定です。

さらにフォードは、2022年以降、ヨーロッパ市場において販売されるより大型の商用バンを両社用に開発・製造する計画となっています。一方で、フォルクスワーゲンは、ヨーロッパおよびその他の一部の市場で両社が販売するためのシティバンの開発・製造を予定しています。

フォードとフォルクスワーゲンは、世界における商用バンとピックアップの事業において、競合の少ない補完的なポジショニングを確立しています。フォードは「Transit(トランジット)」と「Ranger(レンジャー)」、フォルクスワーゲンは「Transporter(トランスポーター)」、「Caddy(キャディ)」、「Amarok(アマロック)」といった、世界的に人気の高い商用バンとピックアップトラックのラインナップを擁しています。

両社は、今後5年間で中型ピックアップトラックと商用バンの需要が世界的に高まると予想しています。これらの主要セグメントでの提携により、より優れた革新的テクノロジーを、より早くお客様にお届けできるようになり、工場の稼働率も向上します。

Ford – Volkswagen expand their global collaboration to advance autonomous driving, electrification and better serve customers

- **Volkswagen to join Ford in investing in Argo AI, the autonomous vehicle platform company, at a valuation of more than \$7 billion. Tie-up allows both automakers to independently integrate Argo AI's self-driving system into their own vehicles, delivering significant global scale**
- **Ford will use Volkswagen's electric vehicle architecture and Modular Electric Toolkit (MEB) to design and build at least one high-volume fully electric vehicle in Europe for European customers starting in 2023, more efficiently advancing its promise to deliver expressive passenger cars while taking advantage of Volkswagen's scale**
- **Ford and VW on track to develop commercial vans and medium pickups for each brand in select global markets starting in 2022; sharing development costs to generate significant synergies**
- **The Volkswagen-Ford global alliance – which does not involve cross-ownership between the companies – is expected to create annual efficiencies for each company**

NEW YORK, July 12, 2019 – Ford Motor Company and Volkswagen AG today announced they are expanding their global alliance to include electric vehicles – and will collaborate with Argo AI to introduce autonomous vehicle technology in the U.S. and Europe – positioning both companies to better serve customers while improving their competitiveness and cost and capital efficiencies.

Volkswagen CEO Dr. Herbert Diess, Ford President and CEO Jim Hackett as well as Argo AI CEO Bryan Salesky announced Volkswagen is joining Ford in investing in Argo AI, the autonomous vehicle technology platform company.

VOLKSWAGEN

AKTIENGESELLSCHAFT

COLLABORATION WITH ARGO AI AIMS FOR INDUSTRY LEADING SDS¹ PLATFORM



Working together with Ford and Volkswagen, Argo AI's self-driving system (SDS) is the first with commercial deployment plans for Europe and the U.S. Plus, being able to tap into both automakers' global reach, Argo AI's platform has the largest geographic deployment potential of any autonomous driving technology to date. Volkswagen and Ford independently will integrate Argo AI's SDS into purpose-built vehicles to support the distinct people and goods movement initiatives of both companies.

Argo AI's focus remains on delivering a SAE Level 4-capable SDS to be applied for ride sharing and goods delivery services in dense urban areas.

Ford and Volkswagen will have an equal stake in Argo AI, and combined, Volkswagen and Ford will own a substantial majority. The remainder will be used as an incentive pool for Argo AI employees. The full transaction is subject to regulatory approvals and closing conditions.

"While Ford and Volkswagen remain independent and fiercely competitive in the marketplace, teaming up and working with Argo AI on this important technology allows us to deliver unmatched capability, scale and geographic reach," Hackett said. "Unlocking the synergies across a range of areas allows us to showcase the power of our global alliance in this era of smart vehicles for a smart world."

Company leaders also announced Ford will become the first additional automaker to use Volkswagen's dedicated electric vehicle architecture and Modular Electric Toolkit – or MEB – to deliver a high-volume zero-emission vehicle in Europe starting in 2023.

Ford expects to deliver more than 600,000 European vehicles using the MEB architecture over six years, with a second all-new Ford model for European customers under discussion. This supports

VOLKSWAGEN

AKTIENGESELLSCHAFT

Ford's European strategy, which involves continuing to play on its strengths – including commercial vehicles, compelling crossovers and imported iconic vehicles such as Mustang and Explorer.

Volkswagen started developing its MEB architecture in 2016, investing approximately \$7 billion in this platform. The car-maker is planning to use this platform to build approximately 15 million cars for the Volkswagen Group alone in the next decade.

For Ford, using Volkswagen's MEB architecture is part of its more than \$11.5 billion investment in electric vehicles worldwide – and supports Ford's commitment to offer its European customers a broad range of electric vehicles while meeting its sustainability commitments.

“Looking ahead, even more customers and the environment will benefit from Volkswagen's industry-leading EV architecture. Our global alliance is beginning to demonstrate even greater promise, and we are continuing to look at other areas on which we might collaborate,” Diess said. “Scaling our MEB drives down development costs for zero-emissions vehicles, allowing for a broader and faster global adoption of electric vehicles. This improves the positions of both companies through greater capital efficiency, further growth and improved competitiveness.”

The alliance, which covers collaborations outside of Volkswagen and Ford's joint investments in Argo AI, does not entail cross-ownership between the two companies and is independent from the investment into Argo AI. The alliance is governed by a joint committee, which is led by Hackett and Diess and includes senior executives from both companies.

The companies also are on track to deliver medium pickup trucks for global customers, aiming to start in 2022, followed by commercial vans.

Equal Shareholders in Argo AI

Volkswagen will invest \$2.6 billion in Argo AI by committing \$1 billion in funding and contributing its \$1.6 billion Autonomous Intelligent Driving (AID) company, which includes more than 200 employees – most of whom have been developing self-driving technology for the Volkswagen Group.

As part of the transaction, Volkswagen also will purchase Argo AI shares from Ford for \$500 million over three years. Ford will invest the remaining \$600 million of its previously announced \$1 billion cash commitment in Argo AI.

The full transaction represents a valuation for Argo AI that totals more than \$7 billion.

Both automakers see significant potential, including profitable growth by tapping new business areas tied to autonomous technology.

Argo AI plans to work closely with Ford and Volkswagen to provide the autonomous vehicle technology the automakers need to deliver fully integrated self-driving vehicles that can be manufactured at scale for safe, reliable and durable deployment in ride sharing and goods delivery services.

VOLKSWAGEN

AKTIENGESELLSCHAFT

“Argo AI is fortunate to have a world-class team due to our clear mission and the commitment to deployment from our partners, and together with AID employees, we will have a global workforce to attract even more of the best talent,” said Salesky, co-founder of Argo AI. “Plus, thanks to Ford and Volkswagen, Argo AI technology could one day reach nearly every market in North America and Europe, applied across multiple brands and to a multitude of vehicle architectures.”

Based in Munich, Germany, AID will become Argo AI’s new European headquarters and will be led by AID’s current CEO Karlheinz Wurm. With the addition of AID employees, Argo AI will grow from 500 to over 700 employees globally.

In addition to its global headquarters in Pittsburgh, Pa., the new location marks Argo AI’s first engineering center in Europe and the fifth globally in addition to Dearborn, Mich.; Cranbury, NJ; and Palo Alto, Calif. Collaborating with Ford, Argo AI also is testing its technology in Miami and Washington, D.C., where together they plan deployment of commercial services.

Ford to Use Volkswagen’s MEB Electric Vehicle Architecture for 600,000 Vehicles

Ford plans to design an all-new, MEB-platform-based EV model, which starts arriving in 2023, in Köln-Merkenich, Germany. Volkswagen will supply MEB parts and components as part of the collaboration.

Both companies also will continue to target additional areas where they can work together on electric vehicles – a key strategic priority for both companies as they drive to accelerate the transition to sustainable and affordable mobility.

The agreement with Ford is a cornerstone in Volkswagen’s electric strategy, supporting the growth of the e-mobility industry and facilitating global efforts to reach the Paris 2050 Agreement.

Commercial Van and Pickup Collaboration On-Track

Ford and Volkswagen remain on track in their previously announced plan to improve their respective strengths in commercial vans and medium pickups in key global markets. The work on these vehicle lines will create significant efficiencies for each company.

Ford will engineer, source and build the previously announced medium pickup for both companies for customers in Europe, Africa, the Middle East, Asia Pacific and South America, with trucks expected to arrive in key markets as early as 2022.

For both companies, Ford intends to engineer, source and build larger commercial vans for European customers starting in 2022, and Volkswagen intends to develop, source and build a city van for sale in Europe and other select global markets.

Volkswagen and Ford have strong complementary commercial van and pickup businesses around the world, with popular models including the Ford Transit lineup and Ranger as well as the Volkswagen Transporter, Caddy and Amarok.

VOLKSWAGEN

AKTIENGESELLSCHAFT

As both companies expect customer demand for medium pickups and commercial vans to grow globally in the next five years, collaborating on these key segments will allow better technologies and more innovation to reach their respective customers more quickly – with better plant capacity utilization.

Forward Looking Statements

Statements included herein may constitute “forward-looking statements” within the meaning of the Private Securities Litigation Reform Act of 1995. Forward-looking statements are based on current expectations for future events. Actual results could differ materially from those stated because of risks, uncertainties and other factors, including those related to market acceptance of new and existing products and mobility services; defects that result in delays in new model launches, recall campaigns, or increased warranty; modifications to product plans to comply with safety, emissions, fuel economy, and other regulations; and cybersecurity risks. Forward-looking statements speak only as of the date of their initial issuance. For additional discussion, see Item 1A in Ford’s 2018 Form 10-K report.

VOLKSWAGEN

AKTIENGESELLSCHAFT

ford.com

About the Volkswagen Group:

The Volkswagen Group, with its headquarters in Wolfsburg, is one of the world's leading automobile manufacturers and the largest carmaker in Europe. The Group comprises twelve brands from seven European countries: Volkswagen Passenger Cars, Audi, SEAT, ŠKODA, Bentley, Bugatti, Lamborghini, Porsche, Ducati, Volkswagen Commercial Vehicles, Scania and MAN. The passenger car portfolio ranges from small cars all the way to luxury-class vehicles. Ducati offers motorcycles. In the light and heavy commercial vehicles sector, the products include ranges from pick-ups, buses and heavy trucks. Every weekday, 664,496 employees around the globe produce on average 44,567 vehicles, are involved in vehicle-related services or work in other areas of business. The Volkswagen Group sells its vehicles in 153 countries.

In 2018, the total number of vehicles supplied to customers by the Group globally was 10,831 million (2017: 10,741 million). The passenger car global market share was 12.3 per cent. In Western Europe 22.0 per cent of all new passenger cars come from the Volkswagen Group. Group sales revenue in 2018 totalled €235.8 billion (2017: €231 billion). Earnings after tax in 2018 amounted to €17.1 billion (2017: €11.6 billion).

About Ford Motor Company

Ford Motor Company is a global company based in Dearborn, Michigan. The company designs, manufactures, markets and services a full line of Ford cars, trucks, SUVs, electrified vehicles and Lincoln luxury vehicles, provides financial services through Ford Motor Credit Company and is pursuing leadership positions in electrification, autonomous vehicles and mobility solutions. Ford employs approximately 196,000 people worldwide. For more information regarding Ford, its products and Ford Motor Credit Company, please visit www.corporate.ford.com.

About Argo AI

Argo AI is an autonomous vehicle technology platform company based in Pittsburgh, Pennsylvania. The company is developing self-driving technology in partnership with leading automakers to provide a safer, more affordable, convenient, and accessible way to get around. Argo AI employs approximately 500 people with engineering centers located in Dearborn, Mich.; Cranbury, NJ; and Palo Alto, Calif. For more information regarding Argo, please visit www.argo.ai.
